

**新治中部地区地域福祉保健計画  
意見交換会の意見をまとめてみました。  
どうぞお読み下さい！**



**地域福祉保健計画地区意見交換会って？**

平成17年度に作成される地域福祉保健計画を「できるだけ地域の意見を吸い上げて現実的な計画にしよう」という趣旨で11地区で開催しました。

**新治中部地区はいつどこで行われたの？**

平成16年8月28日(土) 9月10日(金)の2回、中山町会館で行いました

**だれが何人集まって話し合われたの**

1回目58名 2回目42名 地域の様々な立場の方が参加しました。

**どんな話し合いがすすめられたの**

1, 2回とも10人程度のグループディスカッション方法で、どんな意見も尊重しようというルールで行いました。

1回目は地域で困っている様々な問題、課題をあげてもらいました

2回目は1回目で出てきた問題を具体的にどんなアイデアで解決できるかを話し合ってみました。

その結果次のような地区の将来像とキャッチフレーズが考えられました。

**新治中部地区キャッチフレーズ**

「高齢者と子どもと仲良く手をつなごう」 「若者と活動する活力ある街」

「個人個人が責任ある行動を取ろう」 「声かけで広げよう町作りの輪」

「仲良くしようとなり近所 世代を越えて...」

「むこう三軒両隣声かけあうまち、出あえるチャンスを増やすまち、あいさつ

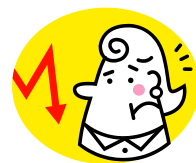
はしてもされてもいい気持ち、待つのではなく自分からあいさつ！！」

## 隣近所・地域の交流を深め、活気のあるまちにしたい！

(地域コミュニティの活性化と相互支援の仕組みづくり)

こんなことで困っています！

- ・ 住民相互の交流や情報交換が薄くなってきている。
- ・ 新しい住民と古い住民とが知り合える機会がない。
- ・ 地域活動に無関心で、自治会の行事にもなかなか参加がない。
- ・ 自治会へ加入しない人が増えてきている。
- ・ 地域を越えた団体の会合（活動）の場がない。



こんなアイデアで解決しましょう！

- ・ 近所との会話やあいさつを積極的に行う。相手に聞こえるように大きな声でこちらから先にあいさつをする。
- ・ 高齢者、子育て、障害者などテーマ別に地域で情報交換を開いてみる。
- ・ 回覧板は顔を合わせて手渡しする。あいさつもできるし、情報交換もできる。
- ・ 自治会加入のお誘い、自治会がどんなものか知ってもらうPRなど、自治会や行事について広報活動に力を入れる。
- ・ 中高年や婦人など個々の世代や生活に合わせた部会や行事を会館で行う。
- ・ 元気な中高年の活動の場を作る。
- ・ 自治会と学校と一緒に行事を計画し、実行していく。

## 災害・防犯に強い、安心できるまちにしたい！

(防犯・災害対策)

こんなことで困っています！

- ・ 犯罪が増えてきたので心配。一人暮らしの人の防犯が心配。
- ・ 災害時の救援体制は大丈夫だろうか？



こんなアイデアで解決しましょう！

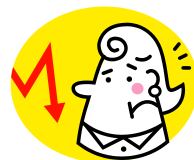
- ・ 一人暮らしの女性は男物の洗濯物を干したり、男物の靴をおいておくなど防犯効果あり。
- ・ 一人暮らしの場合、表札は家族の名前が書いてあるままにしておくが良い。
- ・ 自転車のかごにネットを付けるなど自己防衛意識も必要。
- ・ 両隣顔見知りになれば災害時も安心。
- ・ 犯罪などが発生した場合、早めに地域に情報を提供。

## 高齢者が安心して、元気に暮らせるまちにしたい！

(高齢者支援・地域活動への参加促進)

こんなことで困っています！

- ・ 一人暮らしの高齢者であることをしられたくないと言う人がいる...心配なのだけど。
- ・ 高齢者の一人暮らしの人ゴミ出しの援助が必要。とじ込もりも心配。
- ・ 地域の行事に高齢者の参加が少ない。



こんなアイデアで解決しましょう！

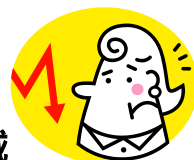
- ・ 高齢者の集まる会には、元気なうちは参加したくない。度々電話で様子を伺えばだんだん慣れてくると思うので、長期戦で取り組む。
- ・ 一人暮らしを知られたくない高齢者には民生委員が電話や訪問で意向を聞いてみる。
- ・ 地域の知り合いがいろいろな活動に声をかければ、とじ込もりがなくなる。
- ・ 向三軒両隣、声をかけ合わせ見守る。
- ・ 自治会館などを高齢者も気軽に使えるようにする。

## 子ども・青少年が健やかに成長できるまちにしたい！

(次世代育成・支援)

こんなことで困っています！

- ・ 子ども・青少年と地域の連携がない。特に小学生の時は子供会を通して地域との接点があるが、中高生になると地域との接点がなくなる。
- ・ 高校生のマナーが悪い。



こんなアイデアで解決しましょう！

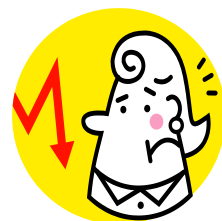
- ・ まずは隣近所の青少年と気軽にあいさつできると良い。
- ・ 青少年の参加できる行事（自治会の祭など）で気軽に準備に参加してもらう。
- ・ 地域の祭礼、運動会、盆踊りなどで学校との交流を深めることにより中高生との接点を持ちたい。
- ・ 中高生が気軽に立ち寄れる場所があって、それをサポートするボランティアのネットワーク作りを進める。

## 誰もが暮らしやすい、人にやさしいまちにしたい！

(バリアフリー・地域の拠点づくり・情報伝達)

こんなことで困っています！

- ・ 地域の行事や活動について、必要な情報がきちんと伝わっていない。
- ・ ゴミの分別がよくわからない人がいる。
- ・ 気軽に運動できる場所がない。
- ・ 高齢者や青少年が気軽に立ち寄れる憩いの場がない。
- ・ たばこ・ゴミのポイ捨て、粗大ゴミの不法投棄が多い。



こんなアイデアで解決しましょう！

- ・ 援助できること、援助してほしいことの情報交換をする。
- ・ 環境推進委員会を中心にゴミ分別について勉強会を開く。
- ・ 誰でも気軽に立ち寄れるよう公民館、学校の校庭などを活用する。スポーツ、運動、パソコンやゲームのボランティアを募る。
- ・ ゴミ捨て禁止のポスターや立て看板を作り呼びかけをする。



私たちのまちでは、もうやっています！

- ・ 月に2回公園清掃のボランティアをやっています。
- ・ 集合住宅の共有部分（駐輪場・公園）を住民参加で清掃しています。



## みんなで解決するために考えましょう！

他にもこんなことで困っています！



- ・ 古い集会所、マンションの集会所はバリアフリー化されていない。
- ・ 道路幅が狭く、歩道がない。障害者や高齢者が歩くのに危険。
- ・ 高齢者や子育て、障害者の家族の問題を身近で相談できる場所が少ない。
- ・ 障害児を抱えている家族は、本人の送迎や留守番の関係で、なかなか兄弟児たちの学校行事に参加できない。
- ・ 障害者の送迎サービスが少ない。